

第63回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年10月9日（水） 13：00－15：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、大島委員、関委員、永田委員、野村委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局戦略官（宇宙利用・国際宇宙探査担当）付

原田戦略官

豆佐専門官

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

藤本副所長

川崎理事補佐長

渡辺プロジェクトマネージャ

堂夜教授

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中国際探査センター長

小川部長

4. 議事要旨

(1) 宇宙技術戦略のローリングに向けた検討について

宇宙技術戦略のローリングに向けた検討について、資料1を用いて、常田座長から委員の皆さんに報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○今年度の宇宙技術戦略の改定において大きく動くのは宇宙戦略基金。各テーマの予算規模や技術開発動向を反映していくべきではないか。

○宇宙戦略基金について、今回何が採択されたのかも大事だが、次のテーマが何かというところも含めた議論ができればと思う。

○宇宙戦略基金の採択結果について、小委員会としてコメントを出していくことも必要と考える。

(2) 宇宙科学・探査プロジェクトの進捗状況について

宇宙科学・探査プロジェクトの進捗状況について、資料2を用いて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

○DESTINY+について、ロケットの事情で間に合わないということで、ロケットを変更し、工学的なミッションを行わないことになるということでもよろしいか。観測対象をフェイトンから変更する議論はなかったのか。

○DESTINY+について、工学的ミッションは、キックモーターと電気推進の二つだったが、両方が使えなくなったということではないと理解しているがよいか。

(3) 令和7年度概算要求に関する報告について

令和7年度概算要求に関する報告について、資料3に基づいて、文部科学省から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

○物価上昇や円安を反映させて概算要求しているのか。

○MMXの開発は順調であると思う。今後の打上げに向けて文部科学省においても予算の確保に向けて取り組んでいただきたい。

○Destiny+について、先の議題を踏まえ、状況は理解。予算も含め今後の道筋について議論していきたい。

○JASMINEについて、国際的にかなり重要な開発だと認識されている。今後とも、文科省とJAXAにおいて、予算獲得に向けて取り組んでいただきたい。

○民間の活動が活発になる中、民間の研究所を通じた人材育成についての可能性も検討してはどうか。

(4) ポストISSについて

ポストISSについて、資料4に基づいて、文部科学省から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

○我が国としての裁量や柔軟性は重要。我が国およびJAXAで蓄積されてきた技術が国内の民間企業へ移管されていくのか。

○コストを民間にどう負担してもらうのか。今後を見据えた方針を定めていくべきではないか。

○ポストISSに関わる多様な要因について議論すべきではないか。

以 上